

碧空・へきくう ～頂の上の青

帯広市立帯広第四中学校 学校だより No. 14

平成28年 10月7日発行 発行者 校長 辻 敦郎
教育テーマ 『静かな時間の創造』 今年度重点 『連帯する学びの構築』

《学校教育目標》

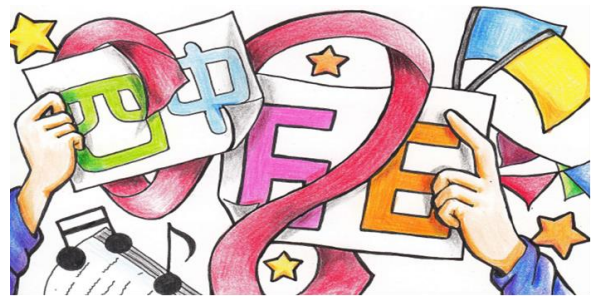
- みかき
- かかわり
- ひらく

第66回 帯広第四中学校 文化祭
「ここを一つに四中魂！限界を超えて Over The Top」

感動をありがとう！

しーんと静まりかえった体育館に響き渡る波のようなハーモニー、何度も心ふるわされました。会場につめかけた多くの観客の皆さんの心にも届いたのではないのでしょうか。合唱のもつ素晴らしさ、生徒の真剣な姿、一人の歌声では表現できないがクラスがまとまれば素晴らしいハーモニーとして広がりました。今年もまた、素晴らしい感動を与えてもらいました。生徒の皆さん感動をありがとう。

文化祭初日は生徒会の司会進行で幕を開け、生徒会企画に続く学級の発表は、わずかな時間ですがステージ狭しと歌ったり踊ったり、キラキラ輝く四中生のエネルギーがほとばしり、体育館が揺れるほど歓声がこだましていました。



二日目は演劇部による熱演で心が引き込まれて始まりました。英語暗唱・私の主張と中学生として質の高いものでした。そして合唱コンクールの感動へと。お昼はPTAバザーなどでひと休み。教室や廊下に展示された作品の前にも多くの保護者の姿がありました。午後からは吹奏楽の素晴らしい音色で締めくくりました。文化祭は体育祭と並んで生徒が大きく成長する大切な取

り組みですが、振り返ってこの文化祭を通して培った仲間との絆、連帯して創りあげることの素晴らしさ等、また次なる目標へつなげてもらいたいと思いました。バザーや喫茶コーナー等

でお手伝いいただいたPTAの皆様ありがとうございました。また、お忙しい中ご来校いただいた保護者・地域の皆様方にも重ねてお礼申し上げます。

後期に入りますが、今後とも四中生の成長を温かく見守っていただければ幸いです。





生徒も先生も輝いた文化祭 一人ひとりの記憶にしっかりと残ったことでしょう。感動をありがとう！！そして、保護者や地域の協力があったの感動を胸に後期の活動を充実させましょう。